



外科部長

金川 泰一郎

－ 就任のご挨拶 －

令和7年1月1日から順心神戸病院に就任いたします、金川泰一郎（かながわ たいいちろう）と申します。

私は大阪府立四条畷高等学校を卒業後、昭和58年に山口大学医学部を卒業し、大阪医科大学一般消化器外科で初期研修を重ね、その後岡山大学医学部消化器外科学、鳥取市立病院、国立病院機構岩国医療センター、晴心会野上病院などを勤務してまいりました。

順心神戸病院は、「公益性の高い医療」の担い手として、特に救急医療に貢献している病院として2020年4月に社会医療法人に認定されています。私もそのチームの一員として微力ではありますが、お力になればと思います。

最近インターネット等により、患者さんや一般の方々が疾患の内容、治療方法を誰でも知るようになり、専門知識をもつ医療従事者から単に治療を受ける関係から、それは適切なものかどうか、受けた医療サービスへの評価にも厳しい目が注がれるようになってきました。「チーム医療」という言葉の通り、医療従事者も患者さんも「チーム」の一員であり、納得して医療を受けていただくために、ともに疾患に向き合う意識を持っていただくことが必要になってきています。そのためには、医療従事者が仕事をしやすい環境でコミュニケーションをとり、接遇やマナーを徹底し、「患者さんの気持ちに寄り添う力」が醸成されるようチームの一員として一役を担えればと思います。

高齢となられても余生を最後まで自宅で過ごしたい方には、可能な限りの在宅での診療、終末期緩和医療のノウハウと資格も持っております。多様な病院形態勤務の経験をもとに、近隣地域の皆様、近隣の病院先生方の順心神戸病院へのご希望、ご期待に応えられますように、尽力する所存でございますので、よろしくご指導ご鞭撻いただきたく宜しくお願ひ申し上げます。

私の専門分野は一般外科、消化器科（胃と腸）、肛門外科です。特にこれまで黒川梅田診療所の高名な黒川彰夫先生の指導を長年にわたり受け、肛門外科の専門医、認定指導医として診療に従事しております。あらゆる痔核、痔瘻、裂肛、ほか肛門部愁訴になやまれる方々には疾患の説明と保存的治療、必要あれば肛門機能の温存を図る手術方針について説明させていただいております。また様々な便秘についても得意分野ですのでご気軽に来院ください。

よろしくお願ひいたします。